

### タイラギ浮遊幼生の飼育と着底

川原逸朗・大隈 斉・山口志則・伊藤史郎(佐賀有明水振セ)



#### 幼生飼育

採卵: 2003年9月25日 水温変化

容器: 1ℓ 3個

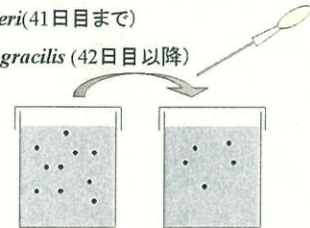
収容: 囊胚期幼生 30個体ずつ

餌料: *Pavlova lutheri* (41日目まで)

*Chaetoceros gracilis* (42日目以降)

水温: 28°C

照度: 暗



#### 着底誘起

容器: ガラスシャーレ(直径5cm、高さ3cm)

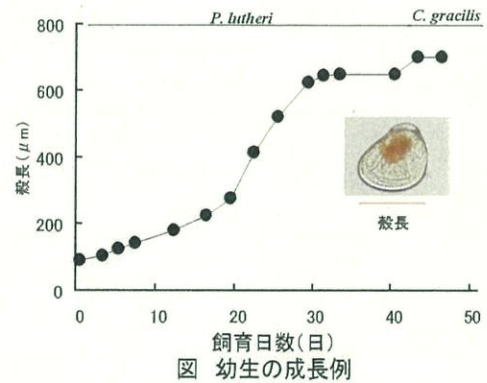
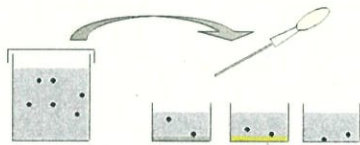
条件: 泥区(干潟泥塗布)

砂泥区(細砂と干潟泥の混合物塗布)

海水区(何も塗布しない)

水温: 28°C

照度: 暗



1日目 90 μm



3日目 105 μm



19日目 275 μm



22日目 415 μm



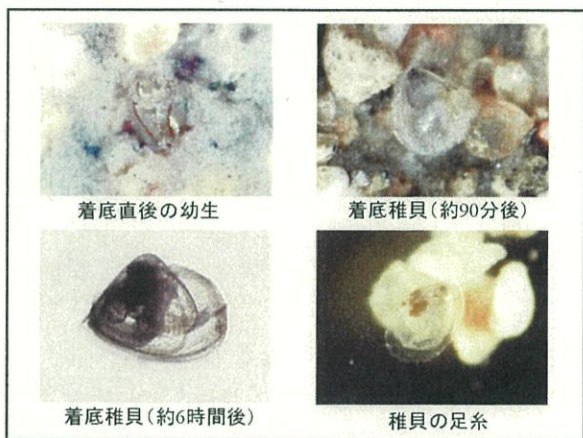
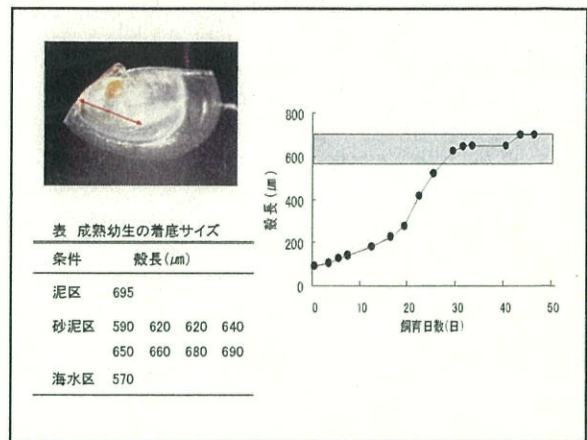
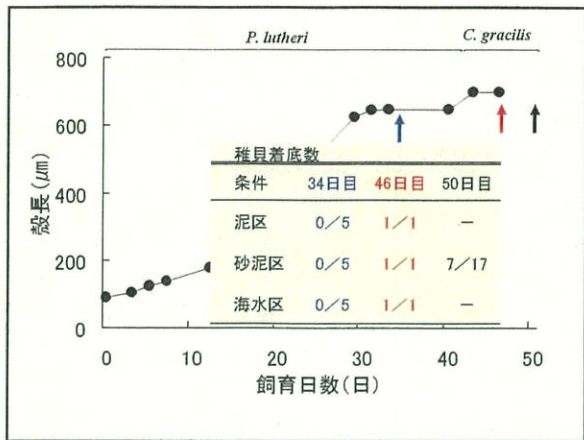
浮遊幼生の面盤



33日目 650 μm



46日目 670 μm



**まとめ**

浮遊幼生  
 D型幼生.....殻長90μm、最大殻長 695μm  
 着底サイズ.....殻長 570~695μm

着底稚貝  
 新生殻成長方向.....後背縁側に伸長して成長  
 着底初期の成長速度.....非常に速い  
 足糸の出現.....6時間後確認  
 入水、出水孔の形成.....1日後確認

成熟幼生の内的要因.....期間、餌料?  
 着底基質.....基質選択性なし?  
 生息場の基質.....砂粒等足糸を絡めるもの必要?